

NPO法人たいとう歴史都市研究会

「ホッとする町の歴史と生活文化をつなぐために」

東京、台東区界隈の古い町では、今でも向こう三軒両隣でさりげなく助け合う暮らしの文化が生きています。それを支えてきたのが、いつでも近所に目が行き届く路地や町家のつくりです。道に向けて並ぶ植木棚は、普段の会話のきっかけでもあります。近代化の進んだ今、プライバシーを過度に守るあまり、隣人と分かり合えないゆえの不幸が世界中で起きています。

当会では、私たちの身近にある古い家や町に込められた暮らしの文化を、人びとが共に生きる知恵として見直し、活かしていきたいと願っています。

○活動内容

- (1) 維持管理・活用運用 具体的な建物の維持管理や活用の企画・提案
- (2) 調査研究 建物、暮らし方、残し方の調査研究
- (3) つどい・勉強会 地域内外の方の啓蒙・交流を目的とした会の運営
- (4) 情報発信 会報やメールなどを通じた地域の情報発信
- (5) 相談・助言 木のすまいを住みつぐための相談や助言

事務局

〒110-0001 東京都台東区谷中 6-1-29 カヤバ珈琲隣

TEL&FAX: 03-5834-8044 カヤバ事務局

(不在時は留守電またはFAXにてメッセージをお残し下さい)

E-mail: info@taireki.com ホームページ <http://taireki.com/>

○NPOで維持管理を行う4棟の建物



市田邸 (上野桜木・明治40年築)



カヤバ珈琲 (谷中・大正5年築)



平櫛田中邸 (上野桜木・大正8年築)



間間間 (谷中・大正8年築)

江戸の春酒 × 市田邸 協力者

友田晶子



○ともだあきこ

酒類を主とした食全般に関する執筆、講演・セミナー、コーディネート等を行う「トータル飲料プロデューサー」。一般消費者向けのお楽しみセミナーや、プロ向けコンサルタントで活躍中。わかりやすい説明には定評がある。世界初のバイリンガル日本酒本「世界に誇る 品格の名酒」(JPA出版)を国内・海外出版。チーズをはじめ、フレンチ・イタリアン食材と和酒の相性研究の第一人者でもある。フランスチーズ鑑定騎士団(シュヴァリエ・ド・タート・フロマージュ)にも認定されている。『日本料飲ビジネス研究会』会長。All About 日本酒・焼酎ガイドでもある。出身地福井県より「ふくい食のアンバサダー」「ふくいブランド大使」も委嘱されている。2011年3月5日(土)6日(日)には、「越前ガニと地酒と温泉満喫のツアー」を開催予定。

豊島屋本店



○としまやほんてん

豊島屋は、慶長元年(1596年)創業、現在16代目。初代豊島十右衛門が神田・鎌倉河岸(現在の神田橋付近)に酒屋兼一杯飲み屋を構え、「豊島屋」の屋号で酒屋を始めました。初春(2月)に売り出す、江戸名物の「白濁」を求めて店頭を市をなす賑わいは、「江戸名所図絵」などにも描かれ、日本の文化史のひとつコマでもありました。清酒「金婚正宗」は、現在、明治神宮、神田明神、及び日枝神社の御神酒としてお納めしています。

小澤酒造



○おざわしゅぞう

小澤酒造は、元禄15年創業。当時の古文書により酒造業を営んでいたことが判明しています。酒名「澤乃井」の由来でもある、東京都青梅市「沢井」に所在。秩父古生層の岩盤を掘り抜いた洞窟の奥から湧き出づる仕込水、連なる山々と豊かな緑、澄み切った奥多摩の空気、選りすぐった原料米、研き上げられた技、それを結集して一滴の美酒として仕上げるのは、全社挙げての真心と研鑽努力であるというのが澤乃井の信条です。

岡本紋弥



○おかもともんや

東京生まれ。学習院大学卒業。邦楽家の子に生まれ2歳より邦楽を仕込まれ、学生のころ新内に転じる。三越邦楽名人会をはじめ、全国の文化財家屋・料亭などに出演。北陸の金沢では廓(くるわ)街を杉浦聡とともに毎年「新内流し」で吟遊する。同時に脚本家、放送作家として商業演劇やテレビの台本を数多く手がけ、芸術祭や教育映画祭の優秀賞などを受賞。また小説家「早瀬詠一郎」として小説を上梓。主な作品に『萩大老』(新潮社)、『しらべの緒』『おふさ』(集英社)、『櫻』『ひろう神』(PHP研究所)、「裏十手からくり草紙」シリーズ(講談社文庫)、「朝帰り半九郎」シリーズ(双葉文庫)、「役者侍」シリーズ(静山社文庫)など

中澤伸弘

○なかざわのぶひろ

昭和37年台東区谷中生まれ、今日まで谷中在住。國學院大學文学部卒業後都立高校国語科教諭、地元の上野高校などを経て、現在都立小岩高校勤務。専門は古典教育をはじめ文化史、国学史、祭祀学、書誌学など幅広い裾野をもつ。勿論谷中近辺の地誌にも詳しい。近世の国学と歌壇の研究で高校教諭としては珍らしく学術博士(神道学)の学位を有する。著書に『やさしく読む国学』(戎光祥出版)『徳川時代後期出雲歌壇と国学』(錦正社)など